



# 両想いのヤミと美柑が 猿山のチロポに貫かれるまで

ヤミさんのことが好きな私と  
私のことが好きだったヤミさん。  
でも消せない過去を乗り越えて  
愛する人と体を重ねたときには…  
**もうすべてが遅かった。**

基本CG12枚  
本編107枚





この惑星に来てしばらく、大分この生活にも慣れてきた。

兵器としての生き方しか知らなかった私が、人間らしい生活と、  
そして心を理解できるようになったのは、  
私の標的である結城リトともう一人、  
私の大切な友達のおかげだ。



美柑、あなたのためなら私は……。





キーンコーンカーンコーン





ふう、ようやく今日の授業も終わりました。

美柑に言われて学校に通うことにはしましたが、  
やはり座って話を聞くだけというのは少々退屈ですね





放課後は特にすることもありませんし、  
図書館にでも行きましょうか…

ほら、ミララさん早く！

えー、ちよっと待ってよ唯一







あれは、プリンセスとコケ…古手川唯？  
あの二人が一緒なのは少し珍しい感じがしますね……



おい西連寺、早く行くぞ

うん、すぐ行くから待って

待たねーよ馬鹿、早く行かないと部屋なくなんだろ  
それとも外がいいのか？





あつちは、西連寺春菜と…結城リトの友人の…さる…さるたに？

あの二人は結城リトを介して話すイメージしかありませんでしたが、  
こうして見ると、随分仲が良かったのですね。









地球人、いえ、それに限らずこの惑星に今いる人間たちは  
互いに尊重しあい、他者と親密な関係を築いている。



それに引き換え私は、せっかく学校に転入したというのに、  
友達と呼べるのは美柑くらい……。



いえ…美柑と友達になれたのだから、彼女が私の拒絶に構うことなく歩み寄ってくれた結果であって、決して自分から動いたわけではない…。

そして周囲の人間が新たな関係を築いている今も、私は一人こうして図書館で本を読んでいる…。





…私は本当に「これ」でよいのでしょうか





ヤミさん、またいつでももおいでよ





…美柑にたい焼きを買っていったら喜んでくれるでしょうか





# 結城家



この時間なら美柑も結城リトも帰っているはず

しかし、呼ばれてもいないのに家を訪ねるといふのは、少々緊張しますね……。もし迷惑だったら……

いえ、そのときはたい焼きだけ置いて帰りましょう

……？



あっ、あう、あう……あう……あう……あう……

おら——、おらず、おらず——おらず——

誰かいる………？

結城リト……じゃない……男の声……それに……これは……

まさか美柑の身になにか!?



トランス!!!





美...柑...?  
美...柑...?



人...  
人...

人...  
人...



うそ、なんで…こんな…誰が…

あれー、なんだ。リト辺りが帰ってきたのかと思ってどどったら、  
ヤミちゃんじゃーん。まずいとこ見られちゃったな(笑)

あなたは…結城リトの…





猿山だよ、いい加減覚えてくわっで。<<<<





ヤミが来る少し前



ふう、しかし手軽にやれて楽だから使ってるけど  
西連寺はやっぱりセフレとしちやイマイチだよなあ

最初は可愛いクラスメイトってんで興奮したけど、

俺のチンポに夢中になってからは、ワンパターンにケツ振るだけで  
なんの面白みもねえ。

ま、NGなしでなんでもやるから、一応キープはしといてやってるけど(笑)

DOWNTOWN STREET



あー、そんなこと考えてたらまたチンポ勃ってきた。  
そういやリトのやつ、なんか体調不良とかで保健室に行ってたな……

ひょっとしたらまだベッドで寝てて、家には帰ってないって可能性も……

へへ、それならダメ元で二号のところに行ってみっか

DOWNTOWN STREET



プーンパンパン

はい

カチャ



あ……

よう美柑ちゃん。

(おいおい、めちゃくちやエロい服着てんなあ)

……あの、リト……まだ帰って来てないので





へえ、それじゃ中で待たせてもらおっかな  
(ラッキー……)

いえ、あの、今日は……



なんで来たかわかってんでしょ？  
それともあのこと……

……そんな



じゃ、美柑ちゃん。早速頼むわ

待っててください…今日はほんとに…リトすぐ帰ってくると思うから…  
今もきつと買い物に手間取ってるだけで…

この時間に帰ってないならまだしばらく帰らないって  
一発抜いたらおさまるからさ。



それとも、俺がチンポ丸出しの状態  
美柑ちゃんの前に立っていると…リトに見せたいの？

……うう



あの…ほんとに…一回だけ…ですから

わかってるって

うう…

ほら、早く口開けて

.....





んぐっ……

(いつも思うけど、すごい大きさ……ていうかなに、このにおい……)

あー、いめんいめん。

そういや今日別の便器使ったんだった。

ブポポッ

びん

ん

ん

ん

あいつのマンコセックスのし過ぎで臭いから、  
シャワー浴びても取れねえんだよな

ついでに美柑ちゃんを掃除してくれよ



……

(はあ、ちっぱい小さい口で嫌がりながらフェラしてんの見るのサイコー)

あッ  
グッ

グッ

グッ  
グッ

グッ

グッ

グッ

あッ

(ちっぱいやるならこっちだよな)

(こんなのイヤだよ……誰か助けて……)





あー、なんかイマイチキモチヨクナイナー  
こんなんじゃないや、あの事誰かにうっかり喋っちまウカモナー

!?

ゴッポッ  
ゴッポッ  
ゴッポッ

ゴッポッ  
ゴッポッ  
ゴッポッ

ゴッポッ

ゴッポッ

ゴッポッ

ゴッポッ









あれはしばらく前、猿山さんがリトのゲームを借りると言って私の家に来た日のことだった。





猿山さんが家に帰って、  
リトがララさんたちと夕飯の買い出しに行ってくれて  
私は家でセリーヌと留守番。

私とリトの二人きりだった頃から考えれば、  
今の生活はまるでテレビの大家族みたいで、  
楽しいし寂しくもないけれど、一人きりになれる時間は減っていて…

あ

ん

クナクナ

ハア

あ

クナ

ハア





私はその時間を  
少しだけいけないことに使っていた……。

んっ……

あっ……

わ……

ハッ

ハッ

おんっ……

チゅん

アッ

家の中で裸になって、  
そんなことをする緊張感や、背徳感から  
周りが見えなくなっていて、気が付いたら……

あの人の名前を呼んでいて……







……え？ 誰…？

いつの間にかそこにいた人影に気づいた。





うっ、あっ、はあ…あっ、やあ…  
ダ…ダメ…猿山…さんっ!

しかし驚いたよなあ、あときは(笑)

たまたま携帯忘れてこの家に取りに戻ったら、  
美柑ちゃんが自分の股に指突っ込んで  
オナニーしてんだから(笑)



わっ?

ピン

ピン

わっ?

わん

ん!

わっ

ピン

ピン



それもあんな大声で名前まで呼んじやって

言わない……で

まあ、もし美柑ちゃんが静かにオナニーしてるだけだったら、  
きつと「こ」までさせてもらえなかったただらうけど(笑)

俺も持ってるのかな？

リトとは違うラッキースケベ(笑)



やや?

びんぎ

びんぎ

びんぎ

ん?

あ?

あ?

ん?

ん?



わだしには、なにしても、いいからっ……  
あのことだけは……言わなっ、で……

へへ、わかってるよ。

美柑ちゃんの言ってた名前のことは誰にも言わないって

俺のオナホになっててさえくればな(笑)  
さて、そろそろ出すぞーロリマンゴニ発目！

パッパッ

パッパッ

パッパッ

パッパッ

やっやっ

ムム

ム

わっ


ム

あっ









あの日以来、猿山さんは頻繁にうちに来るようになった。  
リトが家にいる日も、いない日も。

そしてリトがいない日は、こうしていつも私を求めてくる。  
こんなのも本当…最低、なのに……



ふう出した出した。

西連寺の後だったのに全然勢い変わらなかつたな  
いや、むしろこっちのが出てんじやね(笑)

やっぱりチンポしごくならロリに限るな  
ん……ドアの前に、人影？ やべっ





トランス！









猿山、あなた美柑に一体何をしたんですか……？

ありやりや、この状況見てもなんにもわかんねえかな？

ヤミちゃんって実は経験なかつ——

ふざけないでください！

ヤミ……さん？





美柑……

ヤミさん……なんで、ヤミさんが……「ジュ」……  
あっ……あ、見……ないで……

見ないで！ 見ないでっ！

待っててください美柑、私は……っ





へえ…(ニヤッ)

いやあ、まずいところ見られちゃったなあ

「めんめん、ヤミちゃん。とりあえず言い訳をせてみるのでいい？」

**必要ありません。あなたはここで殺します**

まあまあ、落ち着いて。

これはさあ、美柑ちゃんに頼まれてやったことなんだよ





頼まれて…？…この場面でよくそんな嘘が言えますね

本当だって。まあ、美柑ちゃんを取り乱すのも無理ないよ。

オナニー中に名前を呼んじやうくらい好きな相手に、  
自分の一番見られたくないところを見られちゃったんだから



…！…！！…？…？…？…？…？…？…？…

え？



それはどういう……

な、なんで……猿山さん、それだけは……  
絶対言わないって……

つまりさ、美柑ちゃんはヤミちゃんのこと、  
好きだったってわけ。

ただの友達じゃなく、一人の女の子として。

あ……やめ……





でも、そんなことヤミちゃんには絶対言えない。

だってそうだろ？

ヤミちゃんはただの友達で、それ以上に自分と同じ女の子だ

気持ち悪がられるに決まってる

……っ！

そんなこと……



(クククッ、もっちゃん) (こっ)



だから美柑ちゃんは口の堅い身近な男に頼んできたんだよ。  
ヤミちゃんの「こと」を忘れさせてほしいってな

いやあ、でもほんと…  
二人に悪いことしちゃったなあ

まさかヤミちゃんが突然来るとは思わなかったからさ





美柑…本当、なんで…すか…？  
その…今の話…

……っ

(なあ美柑ちゃん、もし本当のことを言ったら、俺が殺されたりしたら、ヤミちゃんは地球にいらなくなるぜ？)

(……！)

(そうだよ…ここで全部本当だって言っちゃえば、軽蔑されて嫌われるのは私だけで済む…)  
(ヤミさんはこのまま地球で、私以外のみんなときっと楽しく過ごさせる……)

美柑…？





うん。全部本当…

「めんね、私、ヤミさんの「J」が好き





.....

あはは、気持ち悪いよね。女の子同士なのに...  
本当に...ごめん、私もうヤミさんには会わないようにするから...



だから私のことも猿山さんのことも放っておいて？



そんな必要はありません！

え？





美柑、私に兵器としてではなく、人間としての心を教えてくれたのはあなたです。

任務において重要か否か、それしか他者を判断する基準を持たなかった私がなにをおいても守りたいと思った初めての人が、あなたなんです。

だからもし、美柑が私のことを……その、大切に想ってくれているのであれば、私はその気持ちに応えたい……

美柑——





私もあなたのことが大好きです。





ヤミさん…でも私たち…女の子同士で…

性別なんて、些細な問題でしかありません



トランス！



疑似的な男性器ではありますが、  
その…そういうことに使うには…これでも十分です

それにきつと、ドクター御門に頼めば生殖能力だって……

「めん…めんね、ヤミさん…」

私、ヤミさんがそんな風に思っていてくれてたなんて  
知らなくて猿山さんと……





私の過去に比べれば、そんなこと些細な問題です

美柑、どうか私に美柑の記憶を上書きさせてください  
あんな男のことなんて、忘れられるように……

あんな男はひどいなあ……(笑)

とにかく、あなたはもう  
服を着て出て行ってください!!

あとは、私と美柑の問題です。

へいへい(笑)





ふう、ま、色々ヤバイ場面もあったけど  
これでなんとか一件落着……



なーんて「」とはならないと思っぜ、多分な(笑)



それから私とヤミさんは、出会った時から  
ずっとあった見えない溝を埋めるかのように  
強く強く愛し合った。

ヤミさん、啜えるね？

は…はい…















あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん



ヤミさんの出す疑似精液は、サラサラで、透き通っていらっひ、  
とてもきれいで、純粹な……。

まるで私の中のヤミさんのイメージそのもの……。

ヤミさん、続き……しよっか？







こうして私たちは一つになった。



美柑、大好きですっ！

大好きですっ！

うん、わたしもっ…あ…んっ、好き、だよ…？

カッ

パシッ

カッ

カッ

美柑

パシッ

パシッ

ヤミさんは私の上に跨いで、  
私の名前を呼びながら、  
何度も何度も  
強く腰を打ち付けた。













全然、満足できなかつた……

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア



はあはあ、すみません。

美柑のことを考えると、  
どうしても抑えきれなくて…

その、痛かったりしませんでしたか…？

ううん、大丈夫。その、とっても…  
気持ちよかったから…

きゅんきゅん

きゅんきゅん

ハア


ハア

ハア

ハア







息を切らして  
私の上に倒れ込むヤミさん。

あんなに激しく交わったのに、  
むせ返るような汗の臭いも、  
鼻につく精液の臭いも全然しない。

あんなに嫌だった乱暴さも、  
下品な言葉も…なににもない……



（違うよね…多分ヤミさんがまだ慣れていないだけ…）

（そう…きつと、お互いの体がまだ馴染んでいないだけ…）

（もっと、たくさん時間をかけて…すれば）


ヤミさん、もう一回…

え…？ もう一回ですか…

あの…少しだけ、休憩したいのですが…







……うん、うん、そうだよ……ね



美柑との初めての行為から数日、

あれから私たちは、あるときは美柑の家で、  
またあるときはルナテイク号で…

何度も何度も交わった。

二度と訪れることはないと思っていた、平穏で満たされた日々。

私のことを兵器ではなく、人として肯定し、求めてくれる人がいる。  
ただそれだけで、私の心は満たされた。





美柑。すみません、遅くなってしまって

あの、西連寺春菜から美柑の伝言を聞いて来たのですが…

あ、ヤミちゃん





美柑……？

えへへ、待ってたよー！早く早く

え？あの、どうして服を……それに汗も……

ヤミさんのことが待ちきれなくて

ハア

ハア

そう……ですか？

うん。じゃあヤミさんも奥で待っていてね  
すぐ行くから





……？

美柑、なにか様子がおかしいような……  
気のせい、でしょうか……

おー、ほんとに来てんじゃーん

!?





あなたは猿山!?

よう、ヤミちゃん。久しぶり  
つたく来るの遅いから心配したぜ

ほんと、あの馬鹿伝言もろくに  
伝えられねえのかよってな(笑)

どうしてあなたが!?





はあはあ、猿山さん  
これで私ともちちゃんとセックスしてくれるんですよね？

美柑……………？

ばーか、それは俺が無事にヤミちゃんを抱けたらだって言ってるだろ？

あ、そ……そうでした。ヤミさん、ごめんね。  
今からちよつと、猿山さんとセックスしてくれない？





美柑、まさかまたその男に  
なにかされたんですか!?

ううん、違うの。ごめんねヤミさん。

やっぱりヤミさんの偽物チンポじゃダメだったみたい。

猿山さんみたいに強くて逞しくて強引なセックスで、  
濃厚で子宮の中で暴れまわっちゃうような  
そんな精液じゃないと、私どうしても満足できないの

そんな……だって、私たち……あんな……に……



演技だよ。だって私、  
ヤミさんのことは本当に大好きだもん。

だからがっかりさせたくなくて、  
感じてるフリして、気持ちいいって嘘ついてたの。

あ……あ……

でもね、これからはそんな必要ないんだよ？

猿山さんが、二人まとめて抱いてくれるって。

ヤミさんも偽物チンポじゃなくて  
本物チンポで感じる雌としての悦び、  
教えてくれるって







だから、ね？

一緒に気持ちよくなる？









美柑、やめてくださいー！  
手を放してー！

〓〓〓、いい眺めだなあ。

美柑ちゃんに続けてヤミちゃんまで  
俺の前でマンコ広げてくれるなんてさ

やめなさい猿山、今なら手足と、  
あなたの股間のそれを  
切り落とすだけで許してあげますー！





ダメだよヤミさん。  
そんなこと言っちゃ...

猿山さんになにかしたら...私、ヤミさんのこと

嫌いになるよ...?!





美柑が…私の「」を…  
嫌いに……

また、あの頃のよう…  
誰もいなく……



イヤ、それだけは…  
美柑に嫌われたら私は…

やっと大人しくなったな。それじゃ遠慮なく

イヤ…  
オッ

あ…  
あ…

ア  
ア





あー、さいじー。  
やっぱヤミちゃん処女だったんだ  
ま、美柑ちゃんとやった後で  
処女って言うのかは知らねえけど(笑)





やめて、やめっ、やめてくださいー！  
（なに、これ…脳が焼ける………）

あー、それ無理だわ！

だって、俺じゃなくてヤミちゃんのマンコが  
俺のチンポ放そうとしねえんだもん（笑）

「りや、美柑ちゃん並みの締め付けだぜ





カッ

ガッ

ゴッ

ゴッ

あ、あっ……ぐっ、あああ

（なんで、こんななの……す「じ」……）

（ダメ……「じ」のままでは……）

（おかひくなる、これが、雄の……本物の……）

ねえ猿山さん、私退屈だよ……

ヤミさん、もう抵抗する気も失せちゃったみたいだし

さっきから猿山さんのピストンに合わせて、

足がビクビクなってるよ？

そんなことないですっ……

こんなの、気持ちよくも……なんともお、あっ！

ゴッ





ねえ、ヤミさん。トランスでいつもの作って？

い、嫌です。あれは美柑とするためのもので…

いいから早く

……

じゃあ美柑ちゃん、俺と二人だけで愉しむか？  
もうヤミちゃんなんか放っておきなよ

はい！

待ってください、わかりました！ わかりました！



ああああっ、美柑あつやつ、ああ

じゅるる、ぐもっ…ん、んむっ…ぐも、おっ

おいおい、俺の前だったのに  
お構いなしに喘ぐんだな、

ズムズム

シブシブ  
クソッ

美柑ちゃんにフェラされると(笑)

だって私、猿山さんのチンポで散々練習したもん  
ヤミさんの情けないチンポなんて  
すぐイかせちゃえるよ？

さすが美柑ちゃん(笑)  
じゃ、雌穴とチンポの同時責めいくか

まっ、あっ、そんな…の  
(今、あんなの挿れられたら…)





Large, stylized pink and white brushstrokes on the left side of the page, resembling rain or falling petals.

Large, stylized pink and white brushstrokes in the center and right side of the page, resembling rain or falling petals.



あ、あああああ！ ダメ、ダメエエー！  
壊れりゅっ、壊れりゅっ♡♡♡♡

チュッ

どうだ、本物のチンポの味は？

トランスで作った偽物なんかで  
満足できなかつた美柑ちゃん  
の気持ちがあつたか？

わかつた、た、わかつた、あつあつ♡♡♡♡

チュッ  
チュッ  
チュッ





わたひが、バカでひた!

トランスなんかで、

偽物つくったわたひが……っ

美柑ごめ、ごめんなさ……んひっ♡

イ、イグ、イツぢやう……!!

おい美柑、イクってよ、

極薄の水みたいな精液で

気が進まないだろうが全部吸い出してやれ

ふぁーい♡♡♡

俺も、お前の子宮に直接ぶっかけてやるからな!

特濃の本物精子で、自分が兵器なんて高尚なもんじゃなく、  
単なる俺のコキ穴だっ……ことを自覚しろ……!!

受け止める! 俺専用オナホ三号、金色のヤミ!









こうして私と美柑は彼専用のオナホールとなった。  
もちろん最初は抵抗した。

身も心も猿山に魅せられた美柑をなんとか引き戻そうと、  
何度も何度も体を重ね、繰り返し愛を注ぎ込んだ。  
でもそれは大した意味を持たなかった。

なぜなら、あの男から美柑を引き離そうとする私もまた、  
あの男の魅力にとっぷりとハマっていたから……



まったく、また美柑ちゃんをたぶらかしやがって  
お前らは二人まとめて俺のオナホだって自覚あるのか？

はい、「しめんなさい！」 わらし、あっ、ひっ♡

ほんと、抱いてるときだけは素直なのにな(笑)



チッポ  
チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ

チッポ  
チッポ







私はいいよ、猿山さんのチンポだけあればいいー！

ヤミさんのことは大事だけど

猿山さんのチンポのほうが百倍好きiiiiiiiiii♥♥♥♥♥

ああ♥ ヤミさんのダメチンポ越しに感じる

猿山さんの雄チンポしゅきいい♥♥♥♥♥

私も、好き、猿山さんの！ チンポ好きです！

ごめんなさい、いい子になりますから、

許して、許してえええ♥♥♥

だったら、それを態度で示せ！

俺の精子で、二人ともイケ！

イグー！ イギます！

猿山さんのチンポで！











こうして私と美柑は、人ですらない  
彼の単なる性処理用の道具となった。

彼の都合のいいときに尻を出し、

彼の都合のいいときに使われるだけの存在。

そして彼が来ない日は、彼の代理として  
体を持って余した美柑の相手をする。

でもそれは、あのと期待した

温かく、情熱的なものではなくて…

ただただ抑圧された性欲を解放するだけの、  
冷たい営み…。

だけど美柑…それでも私は…